



2月のほけんだより



呉市役所
子育て施設課
0823-25-3144

令和3年 第243号

やけどに注意



乳幼児は好奇心がいっぱいです！活動範囲が広がり日々成長し、大人の油断の際に事故が起こるもので、寒くなってきたこの時期、特に心配なのが「やけど」。

今回は、そのやけどについて考えてみたいと思います。子どものやけどは、大人よりも範囲が狭くても生命に関わる危険性が増します。また深いやけどでは一生傷あとが残り、運動障害を起こすこともあります。

次のようなことを考えて、環境を整えていただければと思います。

大人が大丈夫と思って
も危険がたくさん！！

子どもは好奇心が強く、
怖いもの知らず！

こんなことに
気をつけよう！



やけどの事故！



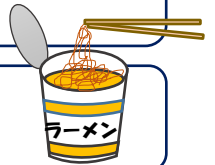
暖房器具・家電製品（熱い器具や蒸気でやけどに！）

・ストーブ類 ・アイロン ・電気ポット ・ケトル ・炊飯器



お湯（テーブルクロスを引っ張って事故になる事も！）

・カップ麺 ・高温の飲み物 ・高温の食べ物



電気あんか・湯たんぽ（長時間使用で低温やけどの危険性も！）

・電気あんか ・湯たんぽ ・電気カーペット ・使い捨てカイロ



火遊びによる事故（子どもの火遊びによる火災の多くはライターが原因）

・ライター・花火

安全対策のポイント

手が届かない
ように！

・高熱の暖房器具は安全柵で囲い、熱い調理器具やお湯等が入ったものは手の届かない所に置きましょう。

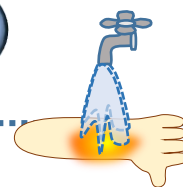
幼児対策商品

・転倒流水防止構造のポットやケトルが販売されています。
・幼児対策（チャイルドレジスタンス機能＝CR 機能）を施した「PSC マーク」付きのライターが販売されています。

わすれないで！

・子どもが寝たら、あんか類は取り出し、電気カーペットは電源を切りましょう。

やけどをした時の応急処置と その後の対応



1：冷水等で冷やす

- 患部に触らないように、直接または服の上から冷水で冷やす。※袖の部分など服の生地が分厚いものは温度がさがりにくく、脱ぎにくいので脱がさずにすぐに直接冷水で流します。
 - 水泡(水ぶくれを破らないようにする ※ラップやナイロン袋などで保護するのも効果的です。
 - 広範囲の場合は、水で濡らしたシーツなどで覆います(※低体温からショック症状を起こすため、冷やしすぎに注意)
- ※下記にも記載があるように程度(深さ)に関わらず、広範囲の場合は直ちに救急車を要請します。

2：状態を見て、対応を判断



身体の表面積の判断(幼児の場合)

手のひらが1%、片腕・片足がそれぞれ10%、顔、頭は合わせて20%と判断します。

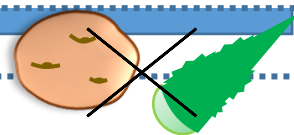
●救急車を呼ぶ ⇒広範囲のやけど

・乳児の場合、身体の表面積の10%以上のやけどで生命が危険な状況になるので、すぐに救急車を呼びましょう。

●医療機関を受診(範囲が狭くても、次のようなときは、患部を冷やしながらか受診する。)

- ・顔や頭、指の関節などのやけどは、ひきつれやケロイド、動き制限などの後遺症の原因となります。
- ・水泡ができたり、皮膚がジュクジュクしていると感染症の原因となります。
- ・低温やけどの可能性があると思われる場合、やけどした後に少し赤いくらいでも日数の経過とともに悪化することがあります。

※その他注意事項※



- やけどに関わらず、アロエやタバコの葉、ジャガイモなどを患部に付ける民間療法はお勧めできません。
- 痛みがあるときにワセリンやステロイドの軟膏を塗ってラップなどで覆うと軽減します。
- 水泡が破れている場合、傷を乾かす薬剤や液やクリーム(軟膏と書いてあってもクリームのものがあります)は、お勧めできません。
- 水泡やそれが破れているときにガーゼなど患部に張り付くものは直接あてないようにしましょう。
- 過去に何日も貼りっぱなししてよいとテレビCMなどありましたが、毎日交換し傷の状態は確認しましょう。

最後に……

やけどの程度(深さ)は接触した温度と、接触している時間によって決まります。程度がひどいほど治る期間が長くなり、傷あとや機能的な障害を残しやすくなります。少しでも早く治すことが大切であり、専門の医療機関では状態に応じて湿潤治療(やけどした時に出てくる黄色い汁は膿ではなく治るために必要な成分：細胞成長因子を沢山含んだものですので、これを上手く利用して治す治療です)が取り入れられています。

程度や患部の状況によって、処置は異なりますが、少しでも痛くなく、早く治るためにも水泡ができるようなやけどの場合は医療機関を受診されることをお勧めします。



ほけんだよりは、くれ子育てねっとの子育て支援サービスでもご覧になることができます。

URL <http://www.kure-kosodate.com/>